

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】平成17年9月29日(2005.9.29)

【公開番号】特開2004-187386(P2004-187386A)

【公開日】平成16年7月2日(2004.7.2)

【年通号数】公開・登録公報2004-025

【出願番号】特願2002-350105(P2002-350105)

【国際特許分類第7版】

H 0 2 M 7/48

【F I】

H 0 2 M 7/48 F

H 0 2 M 7/48 M

【手続補正書】

【提出日】平成17年4月21日(2005.4.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数のスイッチング素子からなるブリッジ回路と平滑コンデンサとを直流電源に並列接続し、制御回路から出力される制御信号に従って上記複数のスイッチング素子のそれぞれをオン、オフ制御することにより、上記直流電源からの直流電流を複数相の交流電流に変換するインバータ装置であって、

上記制御回路は、各制御周期内における複数のスイッチング素子のオン動作のタイミングを互いにずらすように上記制御信号を出力することを特徴とするインバータ装置。

【請求項2】

請求項1に記載のインバータ装置であって、

上記制御回路は、互いに所定の位相差をもつ制御信号を上記各スイッチング素子に生成することを特徴とするインバータ装置。

【請求項3】

請求項1に記載のインバータ装置であって、

上記制御回路は、互いに所定の位相差をもつキャリア信号を使用して制御信号を上記各スイッチング素子に生成することを特徴とするインバータ装置。

【請求項4】

請求項1に記載のインバータ装置であって、

当該インバータ装置は、コンプレッサに備えられるモータのドライブ制御を行うことを特徴とするインバータ装置。

【請求項5】

複数相に互いに所定の位相差をもつ交流電流を生成し、モータを駆動させるインバータのドライブ制御装置であって、

上記各相にそれぞれ設けられるスイッチング素子のON動作のタイミングをずらすことを特徴とするドライブ制御装置。

【請求項6】

複数相に互いに所定の位相差をもつ交流電流を生成し、モータを駆動させるインバータのドライブ制御方法であって、

上記各相にそれぞれ設けられるスイッチング素子のON動作のタイミングをずらすこと

を特徴とするドライブ制御方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図2】

